

かすがやま
 県内の遺跡1 **春日山城跡**

国指定 昭和10年8月27日 追加指定 49年 55年
 上越市大字中屋敷字春日山 大字春日 大字大豆 大字中門前

越後府中（直江津）の御館の要害で、頸城平野を一望できる関川左岸の山頂部を中心に位置する。
 郭群・土塁・堀切などの遺構が良好に保存されていて重要である。

上杉謙信（長尾景虎）の居城として有名であるが、室町時代の初期から長尾氏が守っている。春日山城を戦国山城とした越後国守護代長尾為景は、守護上杉房能の養子定実を立てて、関東管領上杉顯定と対立し、追われた。謙信の代には盛んに城域の拡大と建造物を含む施設の整備が行われたという。天正六年、謙信が没すると跡目相続をめぐって御館の乱が起こる。景勝は春日山城に、景虎は御館に拠点を置いた。

その後、上杉氏の会津移封に伴って堀氏が入封する。堀氏支配に不満の上杉勢力は、慶長四年一揆を起こす。春日山城は総構えの近世城郭に改修されたが、十二年（1607）堀氏の福島城移転により廃城とされた。



東方上空から (写真提供 上越市教育委員会)